

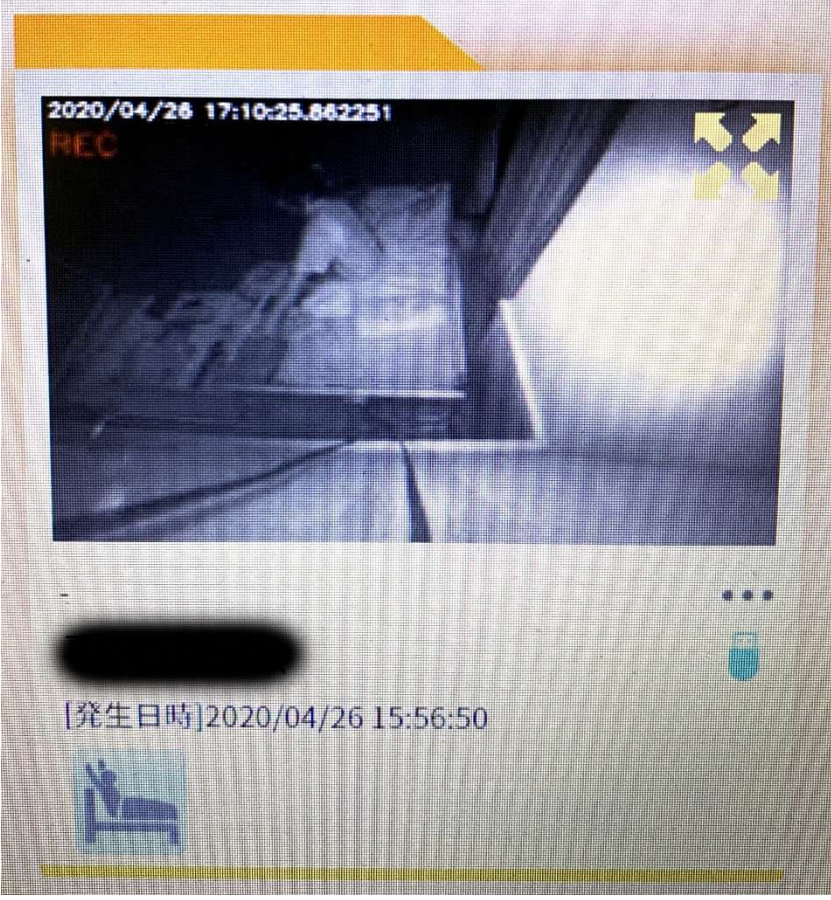
介護ロボット導入報告書

施設名	ほほえみ福寿の家
施設の種別	特別養護老人ホーム
住所地	岐阜県関市稲口845番地

1 導入したロボットについて

ロボット名称	ペイシエントウォッチャー
介護の種類	移乗介護 移動支援 排せつ支援 見守り 入浴支援
ロボットの写真	

2 使用状況

使用状況	
介護ロボットが使用された場面	<p>① 昼で寝起きしている入居者 A の ADL 低下により、昼から起き上がることが困難で入居者 A の身体的負担も職員の介護負担も大きい状況となった。昼からベッドへの生活に移行するにあたり、夜間どの程度動かれているのかをモニターするために使用した。</p> <p>② 今まで施設内において高い自立度で生活を送っていた入居者 B が、体調不良により ADL が著しく低下し、ベッドからの転落事案が増大した。入居者 B の自尊心を尊重しながら、見守りが不足しがちな居室内をカバーするために使用した。</p>

3 導入によって得られた効果

得られた効果	<p>①臥床中どの程度寝返り等で動くのかをモニターするとともに、センサー機能を活用しベッドへ移行した場合の転落のリスクの有無を確認したことで、安全に畳からベッドへ移行することができた。これにより圧迫骨折の既往がある入居者 A の身体的負担の軽減を図ることができ、職員の介護負担も軽減された。</p> <p>②入居者 B の体動時にシルエットで居室内が確認できるため、訪室する必要性の決定ができた。また、その時間帯を統合し、体動のタイミングも把握する事ができたため、接地後転落なく過ごして頂く事ができた。</p>
介護ロボット導入について介護士等の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ SIM 内蔵のため、Wi-Fi の工事など必要がないため、気楽に居室間の移動ができた。 ・ シルエットタイプなため、プライバシー保護されており、常時居室内が確認でき安心できた。違うユニットにいても PC やタブレットで「見る」事ができるのは大きいと感じた。 ・ センサー内に職員が介護で入ると反応してしまう事が度々あった。 ・

4 介護ロボットに関する問い合わせ先

施設名	社会福祉法人 桜友会 ほほえみ福寿の家
電話	0575-24-9570
Email	asanoy@hohoemi.or.jp
担当者氏名	浅野 陽一